

太宰府短歌ポスト第百二十三期 入選歌(令和六年八月二十三日)

あたたかな日差しと共に降りたちてひとりうららか太宰府の春

東京 河野 諒

小川とも呼べぬ細さに泳ぎゐる藍染川の五匹のめだか

大野城市 染川 ゆり

苔生しし長塚節の碑の一字一字を眼にたどる

久留米市 樺島 策子

外つ国の老若男女も学問の志まことあり柏手を打つ

熊本県 前田 妙子

みどり湧く天満宮の大楠にこよいトトロはオカリナ吹かむ

糸島市 森脇 由利子

参拝を終えて寄り道花菖蒲今が盛りと風にゆらめく

福岡市 白井 道義

水光すいこうを抜けて初夏来ぬ文書館少し涼しい小上こあがりの縁へり

福岡市 吉田 衣織奈